

---

# 緋弾の caos 原作ブレイクを目指した武偵

零崎哀識

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

緋弾のカオス 原作ブレイクを目指した武偵

### 【Nコード】

N2530Z

### 【作者名】

零崎哀識

### 【あらすじ】

哀川零の今回の転生先は《緋弾のアリア》

他の世界とクロスしていた。

感想をください。

## 教授（前書き）

めだかボックスを書いていたのですが、書きたいと思っていたところに行く前に、書いてて面白く無かったので放置します。

《バカとカオスと原作ブレイク》、《IS カオスに原作ブレイク》は書いてて面白かったので読んで下さい。

## 教授

ある一室。豪華な料理が乗っているテーブルに向かっている二人。

教授「考え直してくれたのかな？零くん」

零「いい加減諦めてくださいよ。プロフェッショナル教授」

教授「君がイ・ウーを継いでくれれば万事解決なのだが」

零「寝言は寝て言うもんですよ。母さんと姉さんの相手をしろなんて死んでも嫌ですよ」

教授「赤と橙か。仕方ない。あのプランに移すでしょう」

零「それでいいんじゃないですか。あ、でもこいつは約束通りもらいますよ」

教授「分かっているよ。それが君がイ・ウーに所属する理由だからね」

零「なら文句はありませんよ。ですがブラドやパトラという考えは無いんですか？」

教授「彼らは能力が高いが、必要悪の組織のリーダーにはなれないだろう？」

零「確かにあの二人は私利私欲の塊ですからね」

そう言って零はワインに手を伸ばす。

教授「おいおい君はまだ未成年だろ」

零「固いこと言わないでくださいよ。イタリアでは中学生だって飲んでますよ」

教授「君は日本人だろうが」

零「今から戸籍移してきます」

教授「どれだけワインを飲みたいんだい？」

零「こんな良いワインそうそう飲めませんから」

教授「はあ、もういい。好きなだけ飲みたまえ」

零「ヒヤッホー！いただきまーす！」

教授「君も彼らほど無いが私利私欲に忠実だな」

零「俺はあの二人ほど欲しい物が無いですからね」

教授「その分欲しい物にはあの二人以上に容赦が無い」

零「なんのことやら？」

この世界は《緋弾のアリア》の世界。

教授「そういう事にしておこう。身内に人類最強と人類最終を持つイ・ウー？2の哀川零くん」

ただし、今回は他の世界も混ざっている。

教授「そんな君に依頼したいんだが、――――。頼めるかい？」

零「分かりました。請け負いましょう」

転生者 哀川 零。

彼が行うのは原作破壊。

しかし転生した時にはもう原作は変わっていた。

チャリジャック(前書き)

感想をください。

## チャリジャック

空から女の子が降って来ると思うか？

ルームメイトのキンジならそんな状況嫌がるだろう。

何故ならそれは普通じゃ無いから。

しかし俺達が通学してるのは東京武貞校。

つまり何が言いたいかと言うと、

零「キンジ。ざまあ（笑）」

キンジがチャリで爆走している所に幼女がパラシュートで逆ラピュタ。

零「ちよつとオモチャが多いから減らしといてやるか」

チャリが爆発し、キンジと幼女が体育倉庫に吹っ飛ばされる。

体育倉庫には武貞殺しの銃付きのオモチャが30台程向かって行く。

零「哀川零の今日の凶器のコーナー！今日の凶器は《愚神礼賛》」

零が黒衣から取り出したのは釘バット。

零「軽〜く偽善を始めるっちゃ」

そう言つとビルの屋上の壁を駆け下りる。

――――

零「全く。軋識さんはこんな物振り回してたのかよ。肩外れるかと思つた」

キンジがアリアを助けた所には無数のスクラップが陥没した地面に転がっている。

零「7台程逃がしちまつたな。キンジ達どうなつたかね？」

体育倉庫に向かったオモチャをキンジが弾詰まりさせた。

零「ヒスつてんじゃねーか」

キンジ「零？なんでここに！？」

零「そのオモチャがあつたから遊んできた。それより体育倉庫からヒスつて出てくるって始業式から何やつてんだよ？」

キンジ「ちよつと子猫ちゃんね」

零「キモッ」

アリア「この強猿男は神妙にきやつー！」

地面に転がっている銃弾でアリアが転ぶ。

零「マジかよキンジ。お前小学生に手を出すなんて。そこまで変態

とは思わなかったわ」

キンジ「誤解だ！」

アリア「私は高校生よ！きゃっ」

立ち上がるうとしてまたアリアが転ぶ。

キンジ「逃げるぞ零！」

零「了解だ。ロリコン」

キンジ「ロリコンじゃねえ！」

零「ロリコンが移るから話かけるな」

キンジ「移るか！」

アリア「待ちなさい！この卑怯者！」

零「そうでちゅね。がんばってくださいね」

アリア「~~~~！絶対風穴開けてやる！」

—————

2年Aクラス

零「キンジ。リコあたりにさっきの出来事を話したらどうなると思  
う？」

キンジ「はあーハンバーガー奢る」

零「えー。ハンバーガーは健康に悪いからなー」

キンジ「なら何がいいんだよ？」

零「チュツパチャップス×100」

キンジ「チュツパチャップスは体にいいのかよ」

零「細かいことは気にしない」

キンジ「出費がデカイ」

零「白雪に愛妻弁当作ってもらえばいいじゃん」

キンジ「愛妻弁当とか言っな。それに弁当まで作ってもらったら悪  
いだろうが」

零「むしろあいつなら喜ぶ」

キンジ「????」

武藤「なんの話してんだ？」

零「キンジが白雪に弁当を作ってもらっつという話だ」

武藤「星伽さんの手作り弁当だと？羨まし過ぎるぞキンジー！」

キンジ「確かに白雪の料理は美味いが、そこまで騒ぐことか？」

武藤「なあ零。俺はこいつを殴ってもいいか？」

零「俺が許可する」

キンジ「んな、理不尽な!？」

高天原「はい。皆さん席に着いてください」

担任が教室に入ってきた。

零・武藤「ちっ」「」

キンジ「助かった」

高天原「このクラスに転校生が来ます」

武藤「女ですか？」

高天原「はい。女子です」

クラスの男子が騒ぐ。

零「キンジ。嫌な感じしかない」

キンジ「確かに」

高天原「入ってください」

入って来たのは見覚えのある幼女。

高天原「ロンドン武貞校から転校して来た神崎・H・アリアさんです。えーっと席は」

アリア「あそこがいい」

アリアが指差した先は武藤の席。言い方が悪かったな。つまりキンジの隣の席だ。

この発言に教室が沸く。

ちなみに俺もキンジの隣。

武藤「おお！お前にも春が来たか。先生、俺喜んで席代わります」

零「おい、シール……キンジ。小学生が見える」

キンジ「今シールドって言おうとしたらう！」

アリア「また小学生って言った！風穴！」

アリアが2丁の銃を抜き、零に向かって発泡。

キンジ「イダダダダ！零何しやる！？」

防弾制服のおかげで痛いだけで済む。

零「シールドは役目を果たせ。チュッパチャップスは無しでいいから」

キンジ「お前！」

零「おい、神崎。大人なら場所を考えろ」

アリア「はあはあ、キンジこれ返すわ」

落ち着いたアリアがキンジにベルトを返す。

リコ「リコ分かった！分かったよ！これはフラグばっきばきに立ってるよ！」

キンジの後ろに座ってるリコがガタンと音を立て立ち上がる。

リコ「キーくんしてない！そして転校生がベルト持ってる！これ謎でしょ！謎でしょ！でもリコには推理出来た！出来ちゃった！」

零「リコ、その推理に確証を与えてやるよ。さっきキンジと神崎は体育倉庫から出てきた」

キンジ「零！何言ってるやがる！？」

リコ「これはもう確定済だね！キーくと転校生は体育倉庫でピーーなことしてたんだね！」

零「放送禁止用語は発するなバカ」

リコの発言に教室はピークに達する。

キンジ「お、お前らなあ」

ズキユズキユン！

2つの銃声が教室を静める。

短いピークだった。

もちろん発泡したのは机の上に立ち、顔を真っ赤にしたアリア。

アリア「ね、恋愛なんて下らない！」

零「リコ。あれどう思うっ？」

リコ「ツンデレロリっ娘」

零「同意見だ」

ヒソヒソ声で話す。

アリア「全員覚えておきなさい！今後そんな事言っ奴は」

零「そうかつかするなよ。飴ちゃんをあげよう」

アリア「風穴！……………あんたは無条件で風穴」

零「昼行灯シールド」

キンジ「イダダダダダ！てめえいい加減にしるよ！」

キンジも銃を抜く。

零「先生、命の危険を感じるので逃亡します」

窓から飛び降りる。

1、2時間目はサボりだな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2530z/>

---

緋弾のカオス 原作ブレイクを目指した武偵

2011年12月11日10時45分発行